

「あなたのミニ集会を補助します」

第1回目を大阪大学 寺澤先生の企画で開催

・企画名称：

コンクリート構造物の維持管理におけるニーズ/シーズ技術のマッチングのための分野横断型研究集会

・開催日：2022年12月16日（金）15：00～

・会場：非破壊検査株式会社 本社9階大会議室

・企画概要（400字以内）

近年、社会インフラを効率的に検査する技術の開発において、土木・建築分野以外の分野の知見（AI やドローン・ロボットなど）を活用した手法の検討が積極的になされており、今後の技術開発においても、様々な分野の知識を応用した高度かつ合理的な検査手法の提案が期待される。一方、このような新たな検査技術を実際に現場実装していくためには、コンクリート材料の劣化機構の観点に根差した従来の検査技術との比較検討に加え、新たな検査技術の活用により実現できること（シーズ）と、維持管理を行う現場において本当に求められている情報（ニーズ）の mismatch を小さくするための議論が必要となる。

本研究会では、静岡理科大学・西田孝弘教授を講師としてお招きし、港湾・空港のコンクリート構造物の維持管理の実態について講義いただくとともに、若手研究者が中心となって社会インフラの検査技術に関する最新動向を発表し、学術的深化のための議論を行う。

・参加費：無料（事前の申込が必要です）

・定員：20名（すべて対面）

・申込・問い合わせ先：terasawa@civil.eng.osaka-u.ac.jp（大阪大学：寺澤広基）

・プログラム

15：00～15：05 開会挨拶

15：05～15：55 港湾・空港の構造物における非破壊検査の適用と課題（静岡理科大学：西田孝弘）

休憩

16：00～16：20 定期壁面診断を実現する壁面作業ロボット（神戸市立工業高等専門学校：清水俊彦）

16：20～16：40 ドローンによる目視点検（非破壊検査株式会社：藤垣博敏）

16：40～17：00 磁性に着目したコンクリート中鋼材の非破壊検査に関する取り組み（大阪大学：寺澤広基）

*****広報*****

会員へメールリストで開催案内送信

理事会企画として案内

*****実施報告*****

以下の日時・会場で日本材料学会理事会企画「コンクリート構造物の維持管理におけるニーズ/シーズ技術のマッチングのための分野横断型研究集会」が開催された。

日時：2022年12月16日（金）15：00～17：10

会場：非破壊検査株式会社 本社8階会議室

まず、大阪大学・鎌田敏郎教授より開会挨拶があった。続いて、静岡理科大学・西田孝弘教授より港湾・空港の構造物における非破壊検査の適用と課題についてご講演いただいた後、講演に関する質疑応答を行った。休憩を挟んだ後、神戸市立工業高等専門学校・清水俊彦准教授より定期壁面診断を実現する壁面作業ロボット、非破壊検査株式会社・藤垣博敏様よりドローンによる目視点検、大阪大学・寺澤広基助教より磁性に着目したコンクリート中鋼材の非破壊検査に関する取り組みについて講演があった。当日の参加者は15名であり、質疑応答やディスカッションを通じて有意義な議論を行うことができた。

*****会計*****

補助金希望額：50,000円（実施額49,881円）

講師謝礼：27,841円

講師旅費：22,040円

合計：49,881円